

開催日	7月28日(木)	会場	青陵中学校 体育館
時間	18:00~20:30	参加人数	27名
計画位置付け	令和8年度 中学校区内の小学校統合(清明・湖畔・武佐の分離統合)		
質問	<p>Q1-1 今日の参加人数は、この位で適当だと考えているのか。この話しは多くの人に聞いてもらうべきであり、特に子育て中の人には周知し、納得してもらう必要がある。せっかく地域懇談会をやるのであれば、人数を集める工夫が必要だったのではないか。改めて多くの人を集めて説明する機会を設けるのか。私は、父母の意見を十分聞く機会を作る必要があると思う。</p> <p>この地域懇談会での発言について、しっかりと記録を取る体制をとっているか。</p> <p>私たちは統廃合のニュースをつい最近知った。検討委員会の議論の内容を市民に伝えていれば、もっと関心が高まったのではないか。釧路の教育ということを考えてときに、もっと早めに情報を出すべきだったのではないか。</p> <p>新しく釧路に移り住んできた若者が、学校が無くなる地域に来るだろうか。学校の近くを居住先を選ぶというのは常識的に考えられることであり、地域の活性化も考えて今回の統合案は検討したのか。</p>		
回答	<p>A1-1 周知の仕方については、この地域懇談会の開催するにあたり、新聞報道、市広報誌、市ホームページ、連合町内会の協力をいただいてチラシを各町内会にお配りさせていただいた。学校を通じて保護者等に参加依頼をお願いしたほか、市の公式LINEを活用し、全体の地位懇談会の日程、週の初めに今週の地域懇談会の周知を行い、出来る限りの周知を行ったつもりである。改めて地域懇談会の設ける機会については、7月中は、この基本計画たたき台をご理解いただくのと様々なご議論をいただくために行ってきた。今後は、基本計画の素案というものを作成したのちに、10月に改めてその基本計画(素案)の説明のための地域懇談会を開催する予定である。また、パブリックコメントという形で文書でご意見をいただくことも予定している。</p> <p>この地域懇談会の記録はしており、質疑応答の内容について出していく予定。</p> <p>あり方検討委員会の議事録については、当初公開を行っていたが、具体的な検討をする中で学校名等が公開されてしまうと意見を出しづらくなるということもあり、後半は非公開という形で開催した。この基本計画のたたき台が出来たことから、非公開で開催した部分の議事録も出していく予定である。</p> <p>教育を皆で考えるということについては、全くもってそのとおりだと思う。先ほど申し上げたとおり、この地域懇談会を開催するにあたっては、様々な周知手法を用いた。北海道新聞社、釧路新聞社へは、これからこの基本計画のたたき台を説明して、様々なご意見を聞く機会として地域懇談会を開催すると報道依頼させていただいた。</p> <p>地域から学校が無くなることによって地域振興に影響が出るのではないかとということであったが、問題を抱えている児童・生徒がどんどん増えているという実態があって、毎年不登校の子ども達が増えている。その子たちの状況を黙ってみているわけにはいかず、教育制度の中で何かできることはないかとあり方検討委員会で議論してきたなかで、今、すぐできるものとしては、小中連携と、施設一体型義務教育学校による小中一貫教育を行うことによって効果があるのではないかと、ということであって、地域振興策は別に検討や取組みを進めるものと考えており、今回については、児童・生徒の教育環境というところに着目をいただいて、何が必要かというご意見をいただき、検討していきたいと考えている。</p>		

<p>質問</p>	<p>Q2-1 先日、大館市の教育長が釧路市にいらっしやって講演された。釧路市教育委員会の教育長もいらっしやっていた。大館市の取組みは素晴らしいものであり、その話が出てくるのかと思ったが全く出てこなかった。不登校への取組みについても詳しく聞けると思ったがなかった。基本的に不登校が増えてきたかと考えてみると、児童・生徒同士の支えあいが十分されてこなかった。それは、教員は学力を重視していて、子ども達の能力はそれぞれあるが、皆で学んでいくということをしてこなかったのではないか。教員の児童・生徒への理解が進んでおらず、子ども達の目線に立ってないからだと思う。市教委も大館市の教育長の講演を聞かれて、釧路市におけるふるさとキャリア教育をどう進めていくのか。</p>
<p>回答</p>	<p>A2-1 釧路市では、大館市を見習い、大館市の素晴らしい取組をどんどん取り入れていきたいと考えている。釧路市の課題は授業力向上というところであり、大館市で行っている素晴らしい授業をする教諭を授業マイスターという形で登録して、他の教諭も見習って授業力を向上しようという授業マイスター制度を釧路市でも取り入れている。学校の学力を重視するのではなく、というお話であったが、子ども達が自分達の人生の選択をできるように生きる力、基礎的なものを身につけてもらいたいと考えている。そのためには、学力は非常に重要な要素だと考えており、無視できないと思う。もちろん学力だけがあればいいというものではない。施設一体型義務教育学校の9年間を通した小中一貫教育の説明をせてもらったのは、まずは、学力で躓かないよう、また、家庭状況で問題がある子に対しては、小学校の教員も中学校の教員も情報共有をしっかりと、学校全体で解決を図っていくということである。このことが、大館市を目指す方向と違う方向を向いているということではなく、理想の教育環境を整えるために近づけていくという取組を行っており、その一つが小中連携であったり、施設一体型義務教育学校設置による小中一貫教育であるという考えである。</p> <p>ふるさとキャリア教育は、子ども達は将来、自分で職業を選択し、お金を稼ぎ、家庭を養っていくというようなことが人生でいずれやってくると思う。そのときには、学校の先生はおらず、自分で様々な選択をしていくことになる。また、社会情勢が目まぐるしく変わっていくなかで、10年後、20年後の社会がどうなるか全く読めない。ふるさとキャリア教育の目的は、子ども達自身が、自ら考えて判断していく生きていく力を養うということだと考えている。昨年度から大館市を参考として、中学1年生、2年生を対象として、働くということは、お金を稼ぐとは、釧路市にはどういった企業があるのか、どんな人達がどういう想いで働いているかを知るため、オンライン形式で、企業の経営者や働いている方達と話す機会を設けて、活発な意見交換をしたところである。郷土愛を育むということであれば、阿寒湖義務教育学校では、阿寒湖学という地元を学ぶ独自のカリキュラムを持っている。もうひとつは、キャリア教育の中では、どんな仕事があるのかということを知ってもらうことが重要であることから、先ほど説明したとおり、地元の職業人の話を聞いたり、釧路製作所では自分たちの技術力を知ってもらいたいということで、溶接のシミュレーション装置を中学生に使わせてもらったりしている。</p>

質問

Q3 このような教育の重要な問題について、1年間という短い期間の中で父兄や先生や地域の意見をまとめられるのか。十分な検討をしてほしい。小中一貫教育や義務教育学校について、附属の学校や私立学校なら実験校的なこともあって良いと思うが、学校教育法では小学校の年限も決まっている。小、中では、あまりにも心身の発達の違いが違う。小学1年と中学1年が交じり合うのは交流の場としては良いが、心身の発達の違いによってトラブルが起こってくることの方が多いと感じる。やるなら、小学校は6年のままで、中学と高校を一貫とした方が、子ども達の発達や成長の過程を見れば、教育しやすい、部活についても取り組んでいきやすいのではないかと。現場の先生や父母の声をしっかりと聞いたのか。釧路市でもPTA組織があるので、そういった場を使って検討してはどうか。1年や2年で10年先のことをやるのはちょっと検討が早すぎるのではないかと。子どもの数が減っているというが、今だからこそ子どもに行き届いた教育ができる。今、国の基準は35人だが、それを30人、25人に下げれば良いと思っていた。そうすれば教材研究もでき、指導力も行き届いて良いなと考えていたところでそういった方向で考えた方が良いのではないかと。学校がなくなると地域の文化センターがなくなる。学校を中心として今時期であればラジオ体操が行われており、町内会行事でも利用させてもらっている。学校開放も続けてほしい。地域振興の観点から学校は必要で、学校も支所の廃止も同じだ考える。支所もなくすと言っているが、複合施設を作れば、支所や地域との繋がりが生まれる。また、当地域では防災の観点でも活用している。学校の統廃合は地域の色々な活動に関わる大きなテーマであり、不登校や学力だけに縛られてしまうのはいかなものか。

うちの町内会では転勤で異動してきた人が家を建てるケースが多いが、それは学校が近くにあって子どもの教育環境が良く、医院やスーパーもあり、海拔も高いという点も含め、先のことを見通してのことであると思う。教育問題、地域問題を大きな視点で捕まえることが必要ではないか。学校が地域からなくなるといことがこのたたき台には含まれているが、学校が地域からなくなるとは寂しいことであり、多くの市民、保護者の声も聞くためにアンケートを取ることも必要だったのでは。あり方検討委員会で識者の方が集まって議論したのだろうが、市民の意見を聞くべきだったと思う。小学校を統廃合するのではなく、今だからできる行き届いた教育をぜひやってほしい。先生方にゆとりがなければ、落ち着いて指導も教材研究もできない。ただでさえ過労の問題も出ており、そういう問題をあわせて考える必要がある。子ども達の学力や中1ギャップというだけで、さらには一貫校、非行対策ということに目を奪われるのもいかなものか。急がず検討していただきたい。急いで事はし損ずるという言葉もある。

回答	<p>A3 子ども達に行き届いた教育を行いたい、という考えは全く同じである。そのために授業力向上の取組みも行っており、現在の教育制度の中で出来ることをしていきたいと考えている。まず、皆さんに理解していただきたいのは、不登校となる子どもが年々増えている。不登校の子ども達をそのままにしておいて地域が振興のためにはそのままにすれば良い、発展すれば良いというような状況ではなく、この問題について現場はもっと危機感を持っている。このことについてはぜひ、ご理解をしていただきたい。このまま何の対策も取らずにしていくと、年々不登校の子ども達が増えていく。子ども達が健全に育っていかないと地域には戻ってこない。今ある課題をどうやって解決していくかということは最優先課題であり、急いては事をし損ずるから、何もしないでおきましょう、というのは、教育行政に携わる我々としては出来ないこと。当事者達が苦しんでいるなかで、ゆっくりやらないと市民の理解がされないから出来ません、ということにはならず、出来るところから急いでやらせていただきたいと考えているところである。市民のご意見を多くいただくという考えは全く同じである。よって、短い間で意見交換の懇談会の場を設定して、出来るだけ情報を提供するなかで、多くのご意見をいただき、修正すべきところは修正する、進めるべきところは進めていくということで臨んでいきたいと考えている。</p> <p>義務教育における小学校6年、中学校3年の制度が望ましいのではないか、ということについては、6・3制の中で今問題が起きているので、これに対して何かしら手を打つために、中央教育審議会や文部科学省で検討された結果、平成28年に6年・3年の枠組みは残しつつ、学習の進捗については6・3制のまま行うが、9年間とう中で、その中を細かく設定をしながら、子ども達がより良く発達できるように考えていくということになった。今、阿寒湖義務教育学校では、4年・3年・2年という区切りを設けて取り組んでいる。小学校3年生になれば今は英語が入ってくる。今の小学校の教員は英語の資格を持たないなかで英語を教えていくというのが実態であり、そこは専門的な知識のある教員が入ってもらう中で、適切な教育環境を作っていきたいと考えている。少子化がどんどん進んでおり、旧釧路市地域でも複式学級がすぐに出てくる状況にある。そうすると1つのクラスで違う学年の子ども達が学ぶこととなる。1人の教員が学年を半分ずつ授業を進めていくということになる。先生達は複式学級での指導の努力はされているが、子ども達の教育環境にとっては単式で同一学年の授業を受けたほうが望ましいと考えている。今回の計画策定の目的は、少子化で複式学級になるところを避けるということも1つある。</p> <p>市民、保護者の声、現場にいる教員の声も多く聞くようにアンケートを取る、という話であったが、意見を多くいただくというところは同じ考えである。しかし、議論をする上では、その議論するベースとなるたたき台というものがあって、その方向性についてどうかというところがなければ議論にならないわけであり、1年数か月かけて、今お示ししている基本計画のたたき台を6月に作り、すぐに市議会にお示しして、出来るだけ早く市民の皆様にご意見をもらうために7月4日から地域懇談会を開催しているところである。これからも情報をご提供し、意見をいただく機会を設けていきたいと考えている。</p>
----	--

<p>質問</p>	<p>Q4 城山小、武佐小の地域懇談会で「小規模校のデメリットばかり言うな」「メリットも沢山あるだろう」との意見が出され、それに対して市教委では、その後の検討会等に繋げるとの回答をしていたと思うが、何故、小規模校のデメリット、中1ギャップのデメリットばかり説明するのか。理解できない。小規模校の良さもしっかり説明すべきでは。城山、武佐の保護者の方はかなり怒っていたが、今の説明の中で全然それが入ってきていない。資料に小学生の不登校が150人近くいるとの記載があったが、義務教育学校にすることによってどう変わるのか。知り合いの子が小学生で不登校だが、中1ギャップと言わず小学生のうちから対策をとっていく必要がある。現状でも対応できていないのに、生徒の数が増える義務教育学校で対応できるのか。教育大学附属の義務教育学校では、不登校等の問題は、これまでと比べて改善されてきているのか。</p>
<p>回答</p>	<p>A4 地域懇談会の中で頂いたご意見についてはしっかり受けて止めて、今後の議論・検討につなげていくのは間違いがないところである。そこは無視をしていくということではない。ただ、今の説明会は、我々が6月に作った基本計画のたたき台についての考え方を説明する場所で、そのことについてご意見をいただく場所であり、前の地域懇談会でこういう意見があったのでこうします、ということの説明する場所ではないと考えている。小規模校の良さの説明がないのは、我々との基本的な考え方が違うということである。小規模学校の良さというのは当然あると考えている。城山小や武佐小で少人数教育で子ども達に目が届く、学習の進捗もしっかり把握しているということはあると思う。しかし、それを全体に当てはめるということはできないと考えている。政策としてどういうところに主眼を置くかということで、小中連携であったり施設一体型義務教育学校における小中一貫教育というものがあり、我々はこれが良い手法だと考えている、という説明をずっとさせていただいている。これまで地域懇談会の中でいただいた地域の反対や意見は当然、しっかり受け止めていくという姿勢は変わらない。</p> <p>不登校については、小学生のうちからしっかりと対策をとっていく必要があるというのは全くその通りだと思う。教員も努力していると考えているが、さらに家庭や学校の連携を深めていく必要もあると考えている。阿寒湖義務教育学校では、当初不登校の問題があったが、小学校と中学校の教員が児童・生徒のカルテなどを通して、情報を共有し、連携して対応していく中で、良い状況になってきているという事例もある。ただ、不登校には様々な要因があり、全てを解決できるかということではないが、1人でも2人でもより多くの子ども達の社会的自立に向けて取組みを進めていくべきと考えている。教育大学附属の教育学校は、施設一体型ではなく、施設が隣接する形となっている。附属の不登校の状況については把握していない。</p>

<p>質問</p>	<p>Q5 不登校のうち、中1ギャップが原因の人がどれ位いるのか。また、義務教育学校化によりどれだけ減少が見込めるのか。義務教育学校になったとき、小、中と別れていた時と比べて教職員の数はどうなるのか。義務教育学校にすると地域からなくなる学校もある。是非は分からないが大きな決断だと思う。不登校については、例えば今は1人1台端末が整備されているが、そうしたものを活用してよりきめ細やかに1人1人に教育を行うという手法もある中、義務教育学校でどの程度不登校を減らせるのかという推計も無いとのことだったので、不登校の解決と義務教育学校をイコールで結びつけるのはちょっと飛躍があるのでは。そもそも登校させることが正しいことなのかという議論もある中、現在、釧路市で端末を活用した不登校対策として講じられていることがあれば聞きたい。病院や学校は地域の核となる施設であり、それを減らすのは大きな決断。いきなり学校を無くすという決断ではなく、支援員の充実や端末を活用した学習を含め、ソフト面を充実させることで対応することも考えられるのではないか。いろいろな方の意見を聞いて、急ぎすぎずに進めてほしいと思う。</p>
<p>回答</p>	<p>A5 釧路市の小中学校をあわせて不登校の数は389人となっている。全国、全道平均よりも多い数字となっている。中学生の不登校の出現率としては、全国平均では1,000人に対して40人、全道で50人、釧路市は70人となっており、全体の7%が不登校という形になる。増加が明らかになってきたのは平成30年頃から全道・全国を上回っている。不登校の要因は様々あり、勉強についていけない、学校で嫌がらせを受けた、家庭内の不和、健康の問題、気力の問題等、全国でも統計を取っているが、1つだけではなく、複合的に絡み合っている。また、小学校よりも中学校で不登校になったほうが長期化するという傾向もある。義務教育学校にしたから不登校が全て解決するわけではなく、いくら解決したという統計的な数字はないが、義務教育学校になって効果があったということも報告されていることから、何らかの手立てをして少しでも解消していきたいという想いでいる。教職員は学級数が配置の基準となることから、中学校1校と小学校1校で義務教育学校化した場合は数は変わらず、校長1名分が一般教諭等に配置できるということになる。しかし、中学校1校と小学校2校となった場合は、小学校の1学級あたり児童数が35人から40人であることから、小学校をあわせたことにより、教員数が少なくなる可能性もある。</p> <p>端末を活用した学習については、1人1台端末でChromeBookを児童・生徒がっており、教室には入れないが別室でなら授業を受けられるという子どもには学校で別室を用意してもらい、端末を活用して授業を見る等の対応やコロナで陽性や濃厚接触者になった場合に、自宅と学校をネットでつないでみられるような形も取っている。また不登校について城山小学校に青空学級、ふれあい教室という通級教室を設け、フリースクールに通う子どもについては学校の出席を認めたり、ギガスクールで対応するなどその子どもの環境に合わせて対応している。一気に施設一体型の義務教育学校にできる訳ではないので、まずは小・中ジョイントプロジェクトで小中連携を深めてソフト面の対応を充実していきたい。</p>

<p>質問</p>	<p>Q1-2 不登校の問題について悩んでいる姿を見て私はまだ教育に救いがあると思うが、小中連携が進むほど不登校が出てくると思う。何故なら、生徒が一番嫌な学力テストというものがある。これは学校も差をつけられるし、地域も差を付けられる。分析も必要だが、例えば数学が劣っているということを地域の人に言ったって、地域の人が治せる訳ではない。先生方は夜遅くまで仕事をしており、先生の仕事を減らさなければ不登校はなくなる。先生方は余裕がなく、子ども達と遊ぶ暇もない。まずは先生方の雑務を減らしてほしい。どの先生も教育に喜びを持ち、子どもに教育することができるというフレッシュな気持ちで入ったと思う。しかし、年が経つに従い、こんなに忙しかつたらどうなるのか。今、先生方の成り手がなくなっていてこれを解決しなければ義務教育学校にしても不登校は減らないと思う。勉強についても忙しくて授業外で出来ない子を見てやれない。そこに毎回テストで順番を付けられる。子どもの気持ちになったら、本当に学力テストは何のためにやっているのか。確かに劣る部分を把握することも必要だが、先生にも学校にも間違った順番付けが行われている。一概に今言っていることをすぐに直せとは言わないが、皆で直していかないと子どもの不登校はなくなる。清明小学校と湖畔小学校と武佐小学校を集めたら、全部で735人。そうすると大変なマンモス校になる。青陵中学校に統合しても良いが、もうひとつ体育館を作ってやらないと可哀そう。身体の大きな中学生が走り回ったら小学生は縮こまって動けなくなるのではないか。そういったところも含めて環境整備も必要。</p> <p>武佐地域や清明地域から学校がなくなっていくと、地域の子ども達にとってはどうということになるか。地域の子ども達がすくすく育つ環境ということを考えてときに児童館もなくなり遊ぶところもなくなり、武佐小学校がないと中学校に遊びに行かなければならない。この地域で一番遠いのは武修館のあたりではないかと思うが、小学校1年生が青陵中まで行くのに何時間かかるか調べているのか。一か所にまとめれば良いという訳ではない。兵庫県明石市の泉市長は、給食費や教材費の無償化など、教育に3倍くらいお金をかけたところ、若い人が移住して人口が増えたとのことでもう少し教育にお金をかけてはどうか。どうしたら武佐地域で学校をなくさないで済むのかという発想を行政ではできないのか。ただ人口が減ったから学校をなくすということではどうにもならない。生きる力を育むため学力を付けることも大事なことだとは思いますが、そのためにテストの点数を他の地域等と比較しなければならないのか。そうしたことで、生徒は力が無いと感じ不登校になったりもする。生きる力は分かるし学力も否定しないが、どうして地域ごとに順位を付ける必要があるのか。</p>
<p>回答</p>	<p>A1-2 子ども達が義務教育を終えて進路選択をするときに一定の能力を持っておかないと望む進路に進めなくなってしまうという場合があり、また、社会に出たときに学力や仕事の能力といった部分で評価される場面もでてくるので、その時に子どもたちが困らないように将来を見据えて学力を含めた能力をつけるということは義務教育の役割だと考えており、学力テストを避けて評価をするというのにはあり得ないと考えている。過度な競争にはならないよう学力の向上に務めていきたいと思う。先生方に余裕がなくて色々なことに力が入らないのではないのかということについて、先生方は毎日授業を組んで子ども達の対応や放課後の時間に調査などの対応もしており、業務多忙であることは重々承知している。働き方改革に取り組んで少しずつ解消、改善をしていきたいと考えている。施設一体型の義務教育学校について校長1名分が一般教諭等に配置することができ、更に開校の準備期間の数年間は加配で1名増えるので、そういった制度を使って複式学級の解消もしていければと考えている、また、教科の乗り入れを行うことで小学校の先生の空き時間が増えて環境改善が期待できる。</p>

<p>質問</p>	<p>Q2-2 これまでの話を聞いていると不登校を何とかしたいと言っているが、人口減少に歯止めがきかないので統廃合すると聞こえてくる。ふるさとキャリア教育については、義務教育学校にしなければ現状のままでは実践は難しいということか。不登校の保護者が、どういう学校を望んでいるか聞いているか。不登校の保護者の声を把握できないのに、こういう計画を進めるのはどうなのか。子ども達がこういう学校なら通えるのにと考えている母親も多いと思う。私もずっとそれを考えてきた。子ども達が柔らかい思考を持っていれば、ギスギスしたいじめはかなり減るだろう。陰口も不登校になる子ども達は敏感に感じやすいので、居心地が悪いと思ったら避けてしまう。居心地の良い学校とはどのような学校なのか。こういう対策を本気でしようと思っているのであれば、保護者からもっと意見を聞くべき。私は現状を維持してほしいと思っている。小学校、中学校という枠組みの中で、もっとできる対策があるのではないかと思う。</p>
<p>回答</p>	<p>A2-2 今回の施設一体型の義務教育学校、小中連携についてはコストカットによる単純な統廃合ではなく、色々な課題を解決するための手段として何が必要かと考えたときに施設一体型の義務教育学校にしていくことが有効ではないかという考えのもと、ご説明をしている。キャリア教育については現在も取り組んでおり、これからもメニューを充実させて取り組んでいきたいと考えている。不登校については様々な要因もあり、保護者の方に学校のかたちについてどうすべきかというまとまった意見はないと思うので、学校のあり方についてアンケートなどを取っているわけではないが、子どもたちにとって居心地の良い学校を作りたいという気持ちは我々も同じで、子どもたちにアプローチをして今の状態を改善、緩和していくことは当然しなければいけないことである。今の大きな狙いとしてはその前段の不登校の件数を少なくしていこうという考えで、義務教育9年間の見守りが必要ではないかと考えている。現実として不登校の件数は年々増えているので、現状を維持すべきという考えは難しく、先行の都市では義務教育学校にすることによって不登校、問題行動について一定の成果があったというアンケート結果が90パーセントを超えているので、そういった成功事例からも効果を期待している。</p>



## 質問

Q7 資料には、義務教育学校になった場合にどうなるかの記載が一切ない。データを取っていただければ、どう良くなるということが書けると思うが、「良くなると思います」というただの希望で資料を作成しているのではないか。「小中のシステムの違いで生活が激変する」とあるが、中学校になると内容が難しくなり量も増えるのはその通りであり、義務教育学校になっても同じ。義務教育学校になったからと言って、この部分は解決する問題ではない。現状の小学校でも6年間のうちに先生が転勤等で変わる。6年間でも先生方の引継ぎがしっかりできないのに9年間の義務教育学校でできるのか。今の小学校のシステムで、2年間同じ先生に担任をさせたいと校長は言うが、実際にはできていない。1年で先生が変わるかもしれないという中では、生徒の生活や教科の得意不得意、友達関係、家での生活の状況等全てを含めて引き継がなければならないことから6年間でもうまくいかない。教科担任制となれば、複数の教科の先生への説明がそれぞれ必要となり、先生の負荷は相当なものになる。うまくできなかったことが最後には生徒に跳ね返ってくる。小学校で今できていない問題をどうやってやるのか。義務教育学校でうまくいっているデータも出すべき。出せないなら、今先行的に義務教育学校に取り組んでいる地域のデータが出てきたから、釧路市でも始めれば良いのではないか。何も無い所で、釧路市も始めようと言っているところが不思議。うまくいっていないところのデータも積み重ねたところで義務教育学校のあり方を検討する段階に入れるのではないか。

全国で義務教育学校に取り組んでいるところに対して、不登校、学力等の問題に先生方がきちんと対応できているのかという統計を取ってから、こういう話しをすべきではないか。説明会をするのであれば、既に入手している他自治体のデータについて、事前に公表することの了解を得ておくべきであり、対応が遅いのではないか。データがないのに、義務教育学校になったら良くなるというのはおかしい。今後の懇談会等で義務教育学校のデータが出てくるということによいか。知人に小学校のとき不登校で、中学生になってから登校した子がいる。環境が新しくなってリセットされたから登校できるようになったという子もいるので、一概に小中同じ環境だからなくなるということでもないと思う。条件が揃えば義務教育学校にするとのことだが、条件が揃うとはどういうことを言うのか。また、その条件を何故明示しないのか。青陵中校区も義務教育学校にするという流れだが、何故それを説明しないのか。計画の5年後の見直しの際、青陵中校区についても義務教育学校にするといったことが明記されるということによいか。市民と話しをする上では、この計画における条件や、これからどうしていくのかといった話しを最初から言うべきだと思う。また、計画については、たたき台の案を示すのではなく、案を作成する前の段階で住民や学校関係者とかと一緒に考えていくものではないか。10年後に学校に通わせるような人たちを懇談会に呼び、そういう人から話しを聞かないとダメなのではないか。小さな子どもがいる家庭は、この懇談会の時間設定では来られる訳がない。時間設定も各会場一律でおかしいのではないか。

たたき台では、案がひとつしか示されていないが、複数案を示すべきではないか。義務教育学校の他に小中一貫校という説明をしていたが、何故、義務教育学校の説明しかしないのか。教育大学附属で行った義務教育学校はうまくいっているのか。小学校と中学校では、バスケットボールの高さや階段の高さも違う。同じ学校を使うとなると、施設も相当手を入れなければ駄目だと思う。そのあたりもきちんと考えてほしい。武佐小には武佐の森、清明小には池公園があるが、青陵中にはそうした自然環境がない。小学校では自然に触れ合った授業もあるが、ここはそうした環境がない。そこはどのように考えているのか。最後の手段としてはタブレット授業になるが、タブレットで実験画像を見て、実験が終わりましたというような授業だけは避けてほしい。特に小学校のうちは体験をして授業が面白くなり、学習意欲が高まる。楽しく勉強できる環境を整えていくことで、学力、学習意欲の向上があると思う。不登校の問題も楽しければ学校に行く。いろいろ考えて、きちんと精査して、これなら義務教育学校にして良い、これなら解決できるというところまで検討してほしい。

<p>回答</p>	<p>A7 学力について義務教育学校だから上がったというデータは出ていないが、私どもの調査や校長先生のお話を聞いた中では、学力が上がってきているという話を聞いている。不登校については、緩和している傾向にあると考えており、その要因としては9年間子どもを見ることができることであると考えている。学力について小中の先生が職員室をともにして情報共有を行って、できる限り小中の接続をスムーズにして躓かないようにしたいと考えている。また、グランドデザインとして小中が同じ目標に向かって進んでいくので、先生たちの意識が変わり、連携が進んでいくことが期待できる。義務教育学校について視察や直接お話しも伺っており、先進都市の事例などをもとに有効だと判断をしている。具体的なデータについてお示しできていないのは申し訳ないが、公表して良いものか確認が必要となるので、可能であれば今後教育懇談会などで出していきたい。今この10年間の計画で示している6校の義務教育学校は児童数が減少しているが、義務教育学校にすることで複式学級が解消できる可能性のあるところや、小学校と中学校の校区が一緒に小中どちらかの校舎を利用して義務教育学校にすることが出来るところを挙げている。その後の計画では、施設や児童生徒数の動向などから条件が整った段階で義務教育学校を設置していきたいと考えており、全市的に施設一体型の義務教育学校を設置するという方針を持っているが、10以上先の計画について具体案は今はまだ持っていないので、仮にそういった計画が出来たときは事前にお知らせをすることになる。地域懇談会の時間設定についてなるべく早くにお知らせをして平日のほぼ毎日各地域に説明するように設定したが、今後の10月の地域懇談会では土日も含めて参加しやすい時間帯を工夫して設定したい。</p> <p>複数案について併設型の小中一貫型の小学校・中学校も検討したが、教育課程が別となり、組織も別になるので、1つの組織で1人の校長先生のリーダーシップのもと、9年間の教育課程を組むことができる施設一体型の義務教育学校が効果的であるとして方針を出している。附属釧路義務教育学校については市立の学校ではないので、具体的なところを踏み込んで申すことはできないが、今までの小学校、中学校の校舎をそのまま使っていることから職員室は別になるので、できれば職員室は一緒の方が良いという話は聞いている。施設について、義務教育学校の設立の3年ほど前に準備協議会を開いて実際の運用を想定した中で検討していき、場合によっては改築や増築が必要になってくると考えている。その学校にあった教育というのは環境によって変わってくるので、その地域の資源を活用することが必要になってくる。子どもたちに関心を持たせながら勉強が出来る環境を作っていくことは凄く大事なことなのでそういった部分を教育に取り入れながら今後も進めていきたい。</p>
<p>質問</p>	<p>Q2-3 反対の住民が多ければ、この計画はやらないということもあり得るのか。</p>
<p>回答</p>	<p>A2-3 今後市民の皆さまのご意見を伺う機会を設ける手続きもしているので、ご意見をいただいた中で、市として判断をしていきたい。</p>